

令和 6 年度 大牟田市公共下水道事業概況

汚水整備については、吉野・勝立・藤田処理系統を中心に行っており、全体計画区域面積 2,957 ヘクタール、事業計画区域面積 2,460 ヘクタールのうち、令和 6 年度末までに 2,028.75 ヘクタールを整備しました。

雨水整備については、第 2 期白川排水区整備事業に取り組むとともに、汚水と同様にストックマネジメント計画に基づき、施設の延命化を図りながら、効率的な施設の改築更新に取り組んでいます。

また、令和 2 年 7 月豪雨により被災した三川ポンプ場の建替えに係る三川ポンプ場災害復旧建設工事委託については、土木（その 1）工事を完了し、引き続き機械（その 2）工事、電気（その 3）工事を実施するとともに、建築（その 4）工事に着手しました。今後も、地元をはじめ関係機関と連携しながら、災害復旧事業に係る交付金を活用し、事業を進めていきます。

（1）公共下水道普及状況

- ・令和 6 年度末整備区域面積 2,028.75ha 整備区域人口 77,976 人
令和 5 年度比 33.78ha の増、787 人の減
- ・令和 6 年度末処理区域面積 1,994.97ha 処理区域人口 77,318 人（人口普及率 74.5%）
令和 5 年度比 32.8ha の増、505 人の減
- ・令和 6 年度末水洗化戸数 33,519 戸（水洗化率 74.8%）
令和 5 年度比 541 戸の増

（2）財政状況

- ・収益的収入総額 3,964,676,762 円
令和 5 年度比 109,841 円の増（他会計補助金の増）
下水道使用料 1,355,315,118 円
令和 5 年度比 1,356,944 円の減
- ・収益的支出総額 3,415,948,565 円
令和 5 年度比 5,398,897 円の減（委託料の減）

収支差額 548,728,197 円の純利益、平成 22 年度から 15 年連続の黒字決算